



循環物質化学専攻大学院生が 第 38 回溶媒抽出討論会で優秀ポスター賞を受賞

【概要】

令和元年 11 月 20 日（水）～21 日（木）に、第 38 回溶媒抽出討論会が理工学部で開催され、国際共同研究の成果を発表した循環物質化学専攻博士前期課程 2 年 龍 美月さんが優秀ポスター賞を受賞しました。

【本文】

第 38 回溶媒抽出討論会が令和元年 11 月 20 日（水）～21 日（木）に、理工学部 6 号館多目的セミナー室で開催されました。本会は日本溶媒抽出学会主催で毎年開催される研究討論会で、全国の大学や企業から金属の湿式製錬に関連する多数の研究者が研究成果を発信する学会です。本会では、厳正な審査のもとで優れた研究発表を行った学生を表彰しています。

このたび、インドの研究機関を含む国際共同研究成果についてポスター発表を行った循環物質化学専攻博士前期課程 2 年 龍 美月さんが、35 件のポスター発表に対する 5 件の優秀ポスター賞の 1 件に選定されました。おめでとうございます。

○優秀ポスター賞（日本溶媒抽出学会、第 38 回溶媒抽出討論会）

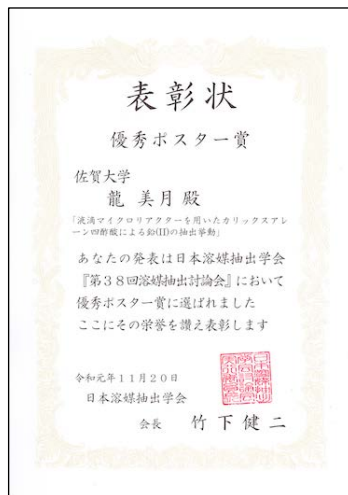
循環物質化学専攻博士前期課程 2 年 龍 美月 さん（指導教員：大渡 啓介 教授）

題 目：液滴マイクロリアクターを用いたカリックスアレーン四酢酸による鉛(II)の抽出挙動

発表者：龍 美月(佐大院工), Y. S. Kurniawan(マチャン大), R. R. Sathuluri(インド国立保健福祉研), 岩崎 渉(産総研), 宮崎 真佐也(九大院工), 森貞 真太郎, 川喜田 英孝, 大渡 啓介(佐大理工)



授賞式の様子



授与された賞状